

ポスター発表（一般会員の部） 会場：P2(NU ホール)

- PA001 マツノマダラカミキリに対する新しい生育阻害剤（1）
○ 辻堯¹・斎藤香往里²・吉村義隆³・神崎菜摘⁴（北里大¹・慶大大学院²・玉川大³・森林総研⁴）
- PA002 水繰り品種繭の解析
○ 野崎真史（高女）
- PA003 マルカメムシ類（Megacocta 属）の分子系統解析と米国侵入集団の起源推定
○ 細川貴弘¹・二河成男²・深津武馬¹（産総研¹・放送大²）
- PA004 農環研の同定依頼対応に DNA バーコーディング手法を取り入れました
○ 吉松慎一¹・綿引大祐²・玉嶋勝範³・馬場友希¹（農環研¹・東京農大²・大分農林水研農業³）
- PA005 共生細菌スピロプラズマによるオス胚致死の詳細な観察
○ 春本敏之^{1,2}・安佛尚志¹・深津武馬¹（産総研・生物プロセス¹・日本学術振興会特別研究員 PD²）
- PA006 ゴール形成昆虫による植物の新規表現型-完全閉鎖型ゴールにおける排泄物除去機構-
○ 杳掛磨也子¹・孟憲英¹・片山昇²・柴尾晴信³・深津武馬¹（産総研・生物プロセス¹・京大・生態研²・東大院・総合文化³）
- PA007 雑草防除資材の亜科を超えた寄主植物シフト：ギンネムマメゾウムシの場合
○ 鹿児島久美子¹・津田みどり¹・山田直隆¹・Wu L-H²・Wang C-P²・Wu J-W²・Chen Z-Q³・Teramoto KK⁴・Kumashiro BR⁴・Buranapanichpan S⁵（九大院・農¹・国立台湾大²・雲南農科院³・ハワイ農務省⁴・チェンマイ大⁵）
- PA008 ヨーロッパでマツノザイセンチュウのベクターである *Monochamus galloprovincialis* が有する細菌のメタゲノム解析
Vicente Claudia¹・○ 長谷川浩一²・Mota Manuel¹
（ICAAM・UE¹・Environ. Sci.・Chubu Univ.²）
- PA009 チャバネアオカメムシ共生菌ゲノムの特徴
○ 小林秀昭¹・竹石桂一²・野田博明²（日本大・薬¹・農業生物資源研²）

- PA010 ホオズキカメムシが卵寄生蜂の存在を認識する化学因子の探索
○ 中嶋祐二¹・網干貴子¹・藤崎憲治²・森直樹¹ (京大院・農・化学生態¹・岡山県赤磐市²)
- PA011 クモヘリカメムシに寄生するヤドリバエの発育
○ 一木良子^{1,3}・山下賢一²・中村達¹ (国際農研¹・兵庫農技総セ²・学振RPD³)
- PA012 イモゾウムシの配偶行動における雌の発音機能
○ 熊野了州 (沖縄県病害虫防除技術センター)
- PA013 オンブバッタの配偶者防衛は摂食行動に影響するか
○ 井出純哉 (久工大・工・教育)
- PA014 インドネシアに生息するミカンコミバエ 2 種間の繁殖干渉
○ 来田村輔¹・西田隆義²・高倉耕一³・塚田森生⁴・川竹友志⁴・沢田裕一² (京大・キャリアパス¹・滋賀県立大²・大阪市立環境科学研究所³・三重大⁴)
- PA015 日本海型カシノナガキクイムシ雄成虫交尾前チャープは、雌による雄認識に必須か？
○ 大谷英児・所雅彦 (森総研)
- PA016 メスは多回交尾を進化させることによって性的対立のコストを軽減する
○ 原野智広 (総研大・先端科学)
- PA017 大量増殖系統のアリモドキゾウムシ *Cylas formicarius* の交尾相手を殺してしまうオスの形質
○ 城本啓子^{1,3}・熊野了州^{1,3}・豊里哲也^{1,3}・栗和田隆²・松山隆志³・原口大⁴ (琉球産経¹・九沖農研²・沖縄防技セ³・沖縄農研セ⁴)
- PA018 ヤマトシロアリ幼虫のワーカー分化に対する生殖虫抽出物の効果
○ 北出理・中川和樹・熊谷望 (茨城大・理)
- PA019 寄生性天敵 2 種がスズメバチの個体群動態に与える影響
○ 佐山勝彦¹・高谷文仁² (森林総研北海道¹・北大植物園²)
- PA020 アリの細胞内にみられる二本鎖 RNA の系統解析
○ 小山哲史・佐藤俊幸 (農工大 農)
- PA021 アリ科女王の長期間の精子貯蔵に関与する遺伝子の探索
○ 後藤彩子¹・緒方法親²・重信秀治³・小林悟³・伊藤文紀⁴・辻和希¹ (琉球大・農¹・農工大・応用昆虫²・基生研³・香川大・農⁴)

- PA022 苦味物質によるナミアゲハ(*Papilio xuthus*)産卵阻害効果
○ 龍田勝輔・尾崎克久 (JT 生命誌研究館)
- PA023 貯穀害虫・コクヌストモドキ(*Tribolium castaneum*)のフェノール酸化酵素前駆体(PPO)遺伝子の細菌感染防御への寄与
○ 横井翔・吉田龍博・小山裕明・伊藤渉・水口智江可・田中利治・三浦健 (名大院・生命農学)
- PA024 ハダニ食害トレニア由来の匂い物質に対するチリカブリダニの反応 ―オシメンや花の香りが天敵の選好性に及ぼす影響について―
○ 下田武志¹・西原昌宏²・小澤理香³・高林純示³・有村源一郎³ (中央農研¹・岩手生工研²・京大生態研³)
- PA025 人工林におけるニホンキバチの材質劣化被害と寄主樹木のサイズとの関係
○ 佐藤重穂・松本剛史 (森林総研四国)
- PA026 イエシロアリの生体防御行動における病原性糸状菌の匂いの影響
○ 柳川 綾¹・辻井直²・秋野順治³・吉村剛¹・清水進⁴ (京大¹・農生研²・京工織大³・九大⁴)
- PA027 ダイズ・アズキのエンドファイトとしての昆虫寄生性 *Lecanicillium* 属菌
森万菜実・王雪楊・斉佳鶴玲・相内大吾・○ 小池正徳 (帯広畜大・環境微生物)
- PA028 土着寄生蜂コナガサムライコマユバチの簡易捕獲法および遺伝子診断法の開発
○ 屋良佳緒利・下田武志・日本典秀・長坂幸吉・守屋成一 (中央農研セ)
- PA029 タバコカスミカメのミトコンドリア COI 塩基配列の地理的変異
○ 日本典秀¹・西優輔²・下元満喜³・中石一英³・安達鉄矢³・小原慎司⁴・手塚俊行⁴・長坂幸吉¹・守屋成一¹ (農研機構・中央農研¹・岡山農研²・高知農技セ³・アグリ総研⁴)
- PA030 複雑な景観における農地周辺の自然植生と農地内の害虫被害との関係
○ 滝久智¹・前藤薫²・岡部貴美子¹・春山直人³ (森林総研¹・神戸大²・栃木農環セ³)
- PA031 水稻出穂期以降の畦畔草刈を組み合わせたアカスジカスミカメ防除対策
○ 横田啓 (岩手農研)
- PA032 非農耕地と周辺作物が北海道の水田害虫の個体数に及ぼす影響
○ 仲島義貴¹・大村彰²・赤坂卓美³・滝久智⁴・田淵研⁵ (帯畜大・昆虫¹・帯畜大・昆虫²・北大農院・森林生態³・森林総研・森林昆虫⁴・東北農研⁵)

- PA033 斑点米カメムシ類 2 種の防除対策としての適切な畦畔除草管理時期の推定
○ 安田美香¹・武田藍²・安田哲也¹・平江雅宏¹ (中央農研¹・千葉農林総研²)
- PA034 ゴマダラカミキリ β -グルコシダーゼの cDNA クローニングと異種発現
○ 渡辺裕文 (農業生物資源研)
- PA035 森林昆虫群集における放射性セシウムの動態
○ 石井弓美子 (国立環境研究所)
- PA036 土壌生息型ミミズの放射性セシウム蓄積量
○ 石崎良祐 (東京農工大昆虫研)